改訂日　２００９年5月２２日

整理番号　０９０２５Ａ

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名　：　ボデーパテ徳用缶　主剤
会社名　：　株式会社ソフト９９コーポレーション
住所　：　大阪市中央区谷町２－６－５
担当部門　：　研究開発部
電話番号　：　06－6942－6958　FAX 番号：06－6942－4075

推奨用途及び使用上の制限　：　自動車のボディのヘコミ、補修用

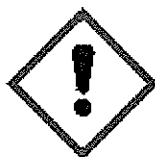
2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響　消防法　第２類　引火性固体

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	可燃性固体	区分１
健康に対する有害性	急性毒性（吸入：蒸気）	区分４
	皮膚腐食性、刺激性	区分２
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分２
	生殖細胞変異原性	区分２
	発がん性	区分２
	生殖毒性	区分１Ｂ
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分１（中枢神経）
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分１（呼吸器・血液神経、肝臓）
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分３
	水生環境慢性有害性	区分３

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語　　危険

危険有害性情報
可燃性固体
吸入すると有害
皮膚刺激
強い眼刺激
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
中枢神経系の障害
長期にわたる、または、反復暴露による呼吸器、血液、神経、肝臓の障害
水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害

注意書き〔安全対策〕
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。―禁煙。
容器および受器を接地すること。

保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
粉じん／煙ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

〔救急処置〕
火災の場合には適切な消火方法をとること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて取り除くこと。
皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

〔保管〕
容器を密封して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。

〔廃棄〕
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成,成分情報　単一製品・混合物の区別　混合物

物質名	含有量（%）	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR 法 No.	CASNo.
ｽﾁﾚﾝ	16.4	3-4	323	第１種 240	100-42-5
ﾅﾌﾃﾝ酸ｺﾊﾞﾙﾄ	１未満	8-630	172	非該当	61789-51-3
ｼﾘｶ	１未満	対象外	312	非該当	60676-86-0
酸化ﾁﾀﾝ	1～5	1-558	191	非該当	13463-67-7

4. 応急措置

目に入った場合：流水で１５分間以上洗い流した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合：付着した部分を直ちに石鹸と水で充分に洗い流す。
吸入した場合：新鮮な空気の場所に移す。身体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち必要なら医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合：無理に吐かせないで医師の手当てを受ける。
口の中が汚染されている場合には、水で充分に洗うこと。

5. 火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末消火器又は炭酸ガス消火器で消火する。
大規模火災には泡消火器等を用いて空気を遮断し、周囲の設備等に散水して冷却する。
呼吸保護具を着用し、消火作業は風上から行う。
消火剤：消火薬剤（粉末,炭酸ガス,泡）

6. 漏出時の措置

・ 作業の際には、適切な保護具（手袋，保護マスク，エプロン，ゴーグル等）を着用する。
・ 流出物は、密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。
・ 付近の着火源，高温体及び付近の可燃物をすばやく取り除く。
・ 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
・ 火花が発生しないように、プラスチック製などの用具を用いて回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：換気の良い場所で取扱う。
容器はその都度密栓する。
周辺で火気，スパーク，高温物の使用を禁止する。
保管：日光の直射を避ける。
風通しの良い所に保管する。
火気，熱源から遠ざけて保管する。

８．暴露防止及び保護措置

管理濃度：ｽﾁﾚﾝ　　５０ ｐｐｍ

許容濃度

日本産業衛生学会（　　年度版）：ｽﾁﾚﾝ　　２０ｐｐｍ

ﾅﾌﾃﾝ酸ｺﾊﾞﾙﾄ　　０．０５mg-Ｃｏ／m^3

ＡＣＧＩＨ（２００５年度版）：ｼﾘｶ　　ＴＷＡ：０．１mg／m^3

酸化ﾁﾀﾝ　　ＴＷＡ：１０mg／m^3

設備対策：屋内は全体に換気する。換気の悪い場所及び蒸気の発生の多い場所には局所排気装置を設ける。

保護具　呼吸用保護具：通常は必要ないが必要に応じて防毒マスクを使用する。

保護用眼鏡：目にかからないように注意すること。必要に応じて保護メガネを着用する。

保護用手袋：必要に応じて耐油性手袋を着用する。

９．物理的及び化学的性質

外観	白色ペースト状		
沸点　(留分)		蒸気圧　(30℃)	／Ｐａ
揮発性	な　し	融点	℃
比重又は嵩比重　(20℃)	１．５５～１．７５	初留点	℃
溶解度	水に不溶	その他	

10．安定性及び反応性（原液）

引火点：３２℃　　発火点：４９０℃

爆発限界上限：６．１％（ｽﾁﾚﾝ）　　下限：１．１％（ｽﾁﾚﾝ）

可燃性：あ　り

発火性（自然発火性，水との反応性）：データなし

酸化性：データなし

自己反応性・爆発性：データなし

粉塵爆発性：データなし

安定性・反応性：冷暗所では安定であるが、熱、光、過酸化物により重合反応を起こし、発熱する。

11．有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚腐食性・刺激性：ウサギを用いた皮膚刺激性試験で、「中等度の刺激性」の結果がある（区分２）

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：ウサギを用いた眼刺激性試験で「中等度の刺激性」の結果がある（区分２）

急性毒性：経口毒性　スチレン　：マウスLD_{50}　３１６ mg／kg

ナフテン酸コバルト　：ラットLD_{50}　３９００ mg／kg

吸入毒性　スチレン　：ラットLC_{50}　２４０００ mg／m^3／４Ｈ

生殖細胞変異原性：（区分２）

発がん性：（区分２）

生殖毒性：（区分１Ｂ）

特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：中枢神経系の障害（区分１）

特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：長期又は反復ばく露による呼吸器、血液、神経、肝臓の障害（区分１）

12．環境影響情報

水性環境急性有害性：水生生物に有害（区分３）

水性環境慢性有害性：長期的影響により水生生物に有害（区分３）

13．廃棄上の注意

適用される産業廃棄物処理基準及び法規に従う。

14．輸送上の注意

- 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
- 容器は転倒・転落・衝撃などを避ける。
- 容器は温度の上昇を防止する。（４０℃以下）
- 火気の使用を禁止する。
- 船舶安全法、航空法に定めるところに従う。
- 国連番号　１３２５

15. 適用法令

消防法：第２類　引火性固体
労働安全衛生法：通知対象物
ＰＲＴＲ法：第１種２４０

16. その他の情報（記載内容の問い合わせ先、引用文献等）

1. 製品安全データシートの作成指針　　　日本オートケミカル工業会

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について安全な取り扱いを確保するための参考情報として取り扱う事業者に提供されるものです。
混合物である製品の危険・有害性情報は、個々の原材料の危険・有害性情報から推定したものです。
取り扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようにお願いします。
従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。

改訂日　２００８年1月２５日

整理番号　０９０２５Ｂ

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名　：　ボデーパテ徳用缶　硬化剤

会社名　：　株式会社ソフト９９コーポレーション
住所　：　大阪市中央区谷町２－６－５
担当部門　：　研究開発部
電話番号　：　06－6942－6958　FAX 番号：06－6942－4075

推奨用途及び使用上の制限　：　自動車のボディのへコミ、補修用

2. 危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響　消防法　第５類　有機過酸化物　第２種

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	有機過酸化物	タイプＤ
健康に対する有害性	急性毒性（吸入：蒸気）	区分４
	皮膚腐食性、刺激性	区分１
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分１
	生殖細胞変異原性	区分２
	発がん性	区分２
	生殖毒性	区分２
	特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）	区分１（中枢神経、呼吸器、肝臓、脾臓）
	特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）	区分１（中枢神経、腎臓、肝臓、肺）
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分３
	水生環境慢性有害性	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語　危険

危険有害性情報
熱すると火災のおそれ
蒸気を吸入すると有害
重篤な薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
遺伝子疾患のおそれの疑い
がんのおそれの疑い
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
呼吸器、中枢神経、肝臓、脾臓の障害
長期にわたる、または、反復暴露による中枢神経、腎臓、肝臓、肺の障害
水生生物に有害

注意書き〔安全対策〕

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
他の容器に移し替えないこと。

粉じん／煙ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

〔救急処置〕
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断／手当てを受けること。
皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて取り除くこと。
皮膚を多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

〔保管〕
容器を密封して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。
他の物質から離して保管すること。
日光から遮断すること。

〔廃棄〕
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成,成分情報　単一製品・混合物の区別　混合物

物質名	含有量（%）	化審法 No.	安衛法 No.	PRTR 法 No.	CASNo.
ｼｸﾛﾍｷｻﾉﾝﾊﾟｰｵｷｻｲﾄﾞ	30～35	5-666	非該当	非該当	12262-58-7
ﾘﾝ酸ﾄﾘｴﾁﾙ	30～35	2-2000	非該当	非該当	78-40-0
ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾒﾁﾙ	15～20	3-1301	480	非該当	131-11-3
過酸化水素	1未満	1-419	126	非該当	7722-84-1
ｼﾘｶ	5～10	対象外	312	非該当	60676-86-0
ｼｸﾛﾍｷｻﾉﾝ	1～5	3-2376	231	非該当	108-94-1

4. 応急措置

目に入った場合：流水で１５分間以上洗い流した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合：付着した部分を直ちに石鹸と水で充分に洗い流す。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受ける。
吸入した場合：新鮮な空気の場所に移す。身体を毛布等で覆い、保温して安静に保ち必要なら医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合：無理に吐かせないで医師の手当てを受ける。
口の中が汚染されている場合には、水で充分に洗うこと。

5. 火災時の措置

消火方法：初期の火災には、粉末消火器又は炭酸ガス消火器で消火する。
大規模火災には泡消火器等を用いて空気を遮断し、周囲の設備等に散水して冷却する。
呼吸保護具を着用し、消火作業は風上から行う。
消火剤：消火薬剤（水,粉末,炭酸ガス,泡）

6. 漏出時の措置

- 作業の際には、適切な保護具（手袋，保護マスク，エプロン，ゴーグル等）を着用する。
- 流出物は、密閉できる容器に回収し安全な場所に移す。
- 付近の着火源，高温体及び付近の可燃物をすばやく取り除く。
- 着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。
- 火花が発生しないように、プラスチック製などの用具を用いて回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：換気の良い場所で取扱う。
容器はその都度密栓する。
周辺で火気，スパーク，高温物の使用を禁止する。

保管：日光の直射を避ける。
風通しの良い所に保管する。
火気，熱源から遠ざけて保管する。
子供の手の届かない所に保管する。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度：ｼｸﾛﾍｷｻﾉﾝ　　２５ ｐｐｍ

許容濃度

日本産業衛生学会（１９７０年度版）：ｼｸﾛﾍｷｻﾉﾝ　２５ｐｐｍ　１００ ｍｇ／ｍ^3

ＡＣＧＩＨ（２００５年度版）：ｼｸﾛﾍｷｻﾉﾝ　ＴＷＡ　２０ ｐｐｍ

ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾒﾁﾙ　ＴＷＡ　５ ｍｇ／ｍ^3

ｼﾘｶ　ＴＷＡ　０.１ ｍｇ／ｍ^3

過酸化水素　ＴＷＡ　１ ｐｐｍ

設備対策：屋内は全体に換気する。換気の悪い場所及び蒸気の発生の多い場所には局所排気装置を設ける。

保護具　呼吸用保護具：通常は必要ないが必要に応じて防毒マスクを使用する。
保護用眼鏡：目にかからないように注意すること。必要に応じて保護メガネを着用する。
保護用手袋：必要に応じて耐油性手袋を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観	黄色ペースト状		
沸点　(留分)	データなし	蒸気圧　(30℃)	／Ｐａ
揮発性	な　し	融点	℃
比重又は嵩比重　(20℃)	１．２	初留点	℃
溶解度	水に難溶	その他	

10. 安定性及び反応性（原液）

引火点：データなし　　発火点：データなし
爆発限界上限：データなし　　下限：データなし
可燃性：あ　り
発火性（自然発火性，水との反応性）：データなし
酸化性：データなし
自己反応性・爆発性：データなし
粉塵爆発性：データなし
安定性：熱に対して不安定である。
反応性：アミン類、酸、アルカリ、遷移金属化合物、その他還元性物質等との接触により爆発的に分解が促進される場合があるので充分注意すること。

11. 有害性情報（人についての症例、疫学的情報を含む）

皮膚腐食性・刺激性：火傷を引き起こす。（区分１）
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：（区分１）
急性毒性：
ｼｸﾛﾍｷｻﾉﾝ　：　ラット　経口ＬＤ$_{50}$　１５３５ mg／kg
ﾘﾝ酸ﾄﾘｴﾁﾙ　：　マウス　経口ＬＤ$_{50}$　１６００ mg／kg
ﾌﾀﾙ酸ｼﾞﾒﾁﾙ　：　ラット　経口ＬＤ$_{50}$　６８００ mg／kg
ｼｸﾛﾍｷｻﾉﾝ　：　ラット　吸入ＬＣ$_{50}$　８０００ ppm／8H
生殖細胞変異原性：（区分２）
発がん性：（区分２）
生殖毒性：（区分２）
特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）：呼吸器、肝臓、脾臓、中枢神経の障害（区分１）
特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）：長期又は反復ばく露による中枢神経、腎臓、肝臓、肺の障害（区分１）

12. 環境影響情報

水性環境急性有害性：水生生物に有害（区分３）
水性環境慢性有害性：（区分外）

13. 廃棄上の注意

適用される産業廃棄物処理基準及び法規に従う。

14. 輸送上の注意

・ 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。
・ 容器は転倒・転落・衝撃などを避ける。
・ 容器は温度の上昇を防止する。（４０℃以下）
・ 火気の使用を禁止する。
・ 船舶安全法、航空法に定めるところに従う。
・ 国連番号　３１０６

15. 適用法令

消防法：第５類　有機過酸化物　第２種（指定数量１００kg）
労働安全衛生法：通知対象物
ＰＲＴＲ法：非該当

16. その他の情報（記載内容の問い合わせ先、引用文献等）

1. 製品安全データシートの作成指針　　　　日本オートケミカル工業会

製品安全データシートは、危険有害な化学製品について安全な取り扱いを確保するための参考情報として取り扱う事業者に提供されるものです。
混合物である製品の危険・有害性情報は、個々の原材料の危険・有害性情報から推定したものです。
取り扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようにお願いします。
従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。